

難聴の赤ちゃんとのコミュニケーション①

☆子育ての基本は、どんなお子さんでも同じです。

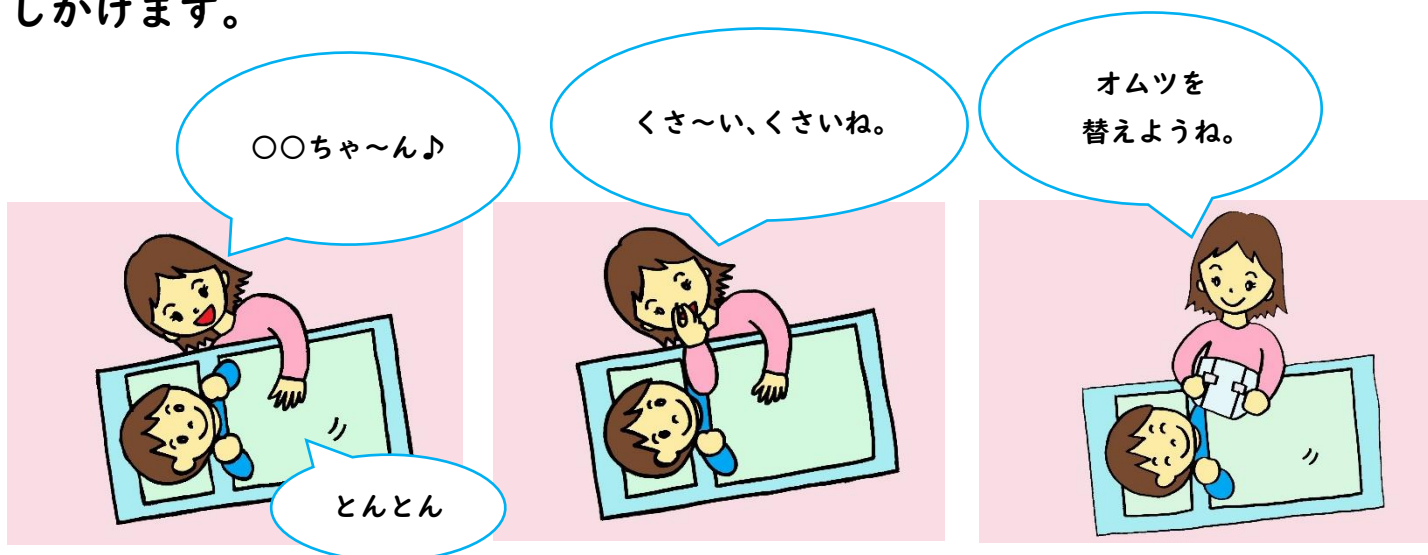
赤ちゃんの生活の大半は、寝ること、泣くこと、飲むこと。

そこに、少しでも難聴に配慮した働きかけを加えることで、赤ちゃんとのコミュニケーションがスムーズになっていきます。

1. 赤ちゃんのお世話をする時に

ミルクをあげたりオムツを替えたりする時に、赤ちゃんの顔を見て声をかけ、実物を見せながら話しかけましょう。

☆赤ちゃんの顔から20～30cm くらいの距離で、目と目を合わせて話しかけます。

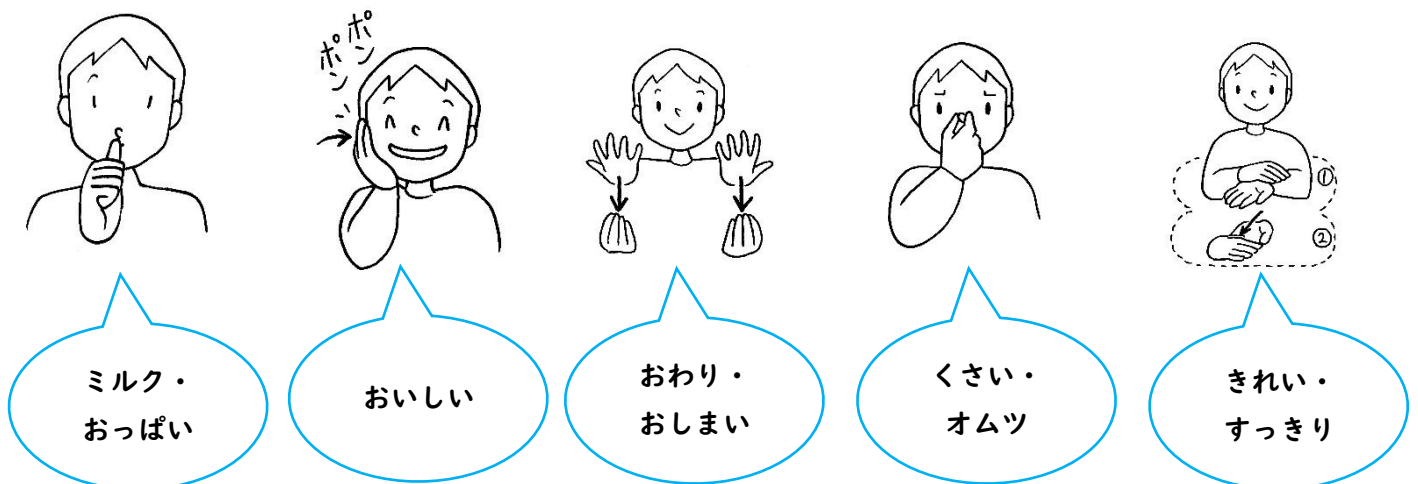


2. 赤ちゃんが泣いたら

「どうしたの?」「おなかがすいたの?」「おしっこかな?」などと話しかけ、オムツを替えたなら「すっきりしたね」、ミルクを飲まなくなったら「もういらなの?」「おいしかったね」など、一人二役でお話ししましょう。

☆簡単な手話・身ぶり・サイン等を使うことも効果的です。

簡単なサインの例



「おやこの手話じてん」全国早期支援研究協議会編 よりイラスト引用

3. スキンシップを大切に

抱っこしたり、ほおずりしたり、背中を優しくトントン叩いたり、スキンシップをたくさんするなど、大人の方から表情豊かに積極的に働きかけましょう。



難しく考えず、愛情たっぷりに働きかけてあげましょう。